



5月のデータ

6月1日現在 ()内は前月比

●人のうごき

人口 111,093人 (-152)
男性 51,555人
女性 59,538人
出生 59人
死亡 168人
転入など 190人
転出など 233人
世帯数 56,189世帯 (-30)

●火災など

火災 6件 / 救急 527件 /
交通事故 14件

7月の納税期限 8月2日(月)

- 固定資産税 2期分
国民健康保険税 1期分
後期高齢者医療保険料 1期分

ごみ・リサイクルなど

7月22日(祝)、23日(祝)のごみ収集、
資源物回収は休みです。
7月23日(祝)のし尿収集は休みです。

新型コロナに関する相談・受診方法

～ 受診前に必ず電話相談を ～

- 1 まずは、かかりつけ医等の地域で身近な
医療機関に電話相談
2 相談した医療機関で診療・検査ができない
場合や相談する医療機関に迷った場合等
以下に問い合わせてください。診療・検査がで
きる医療機関を案内しますので、案内された医療機
関に電話相談したうえで受診してください。

受診・相談センター (南筑後保健福祉環境事務所)
平日 ☎68-5224 FAX 72-3035
夜間・休日 ☎092-643-3288

大牟田市

住所 大牟田市有明町 2丁目3番地
電話 0944-41-2222 (代表)
FAX 0944-41-2552 (代表)
ホームページ https://www.city.omuta.lg.jp
開庁日時 平日 8:30～17:15 (土日・祝日休み)
※紙面では、市外局番 (0944) を省略しています。

広報紙の配布に関する問い合わせは、
シルバー人材センター (☎53-2319) へ

目次 contents

2021.7.1 No.1274

- 3 未来を担う“おおむたっ子” 白光中学校
4 新型コロナワクチン 16～64歳の人に接種券を送っています
6 新型コロナウイルス感染症関連
8 令和2年7月豪雨災害から1年
12 災害支援
13 まちかどレポート
14 市からのお知らせ (01～07)
令和3年度第74回成人式 ほか
18 すこやか健康/家族になろう♡ご縁結びパーティー
24 暮らしの情報/食改善おすすめ簡単レシピ
29 7月の無料相談
30 教育委員会だより
32 夏のイベント特集
36 おでかけガイド
夏の鉄道展 炭鉱電車と九州の鉄道 ほか
38 子育てひろば
40 おおむたまちなか新聞/会社訪問
42 動物園に行こう!/市民のひろば
43 休日当番医・平日時間外小児急患診療当番医
44 事業所の皆様へ/ジョージアとアフガニスタンの選手にエール

● 今月の休日窓口 7月11日(日)

時間 午前8時30分～午後0時30分
開設 市民課、保険年金課、税務課、
納税課、子ども家庭課

※詳しくは、市役所代表電話から各課へ。
ホームページでも確認できます。 →



次回の『広報おおむた』は8月1日号

7月30日～8月3日にお届けします



今号の表紙



令和2年7月豪雨から、
1年が経とうとしていま
す。被害の爪痕ははまだ
残っており、被災現場で
は急ピッチで復旧作業が
進んでいます。8ページ
からの特集記事も読んで
ください。(写真は上内
白銀川 6/15撮影)



暑い中にもかかわらず、真剣な表情で話を聞く生徒たち。この日の話を今後の人生に役立ててくれることでしょう。

第40回 | 未来を担う“おおむたっ子”

将来を展望し、社会や人のために 行動できる生徒に 白光中学校

白光中学校では、総合的な学習の時間に福祉施設や地元企業、高校などを訪問して体験学習を全学年で実施しています。2年生は、例年職場体験を行っていますが、今年度は新型コロナの影響で校外活動が制限されているため、美容・福祉・建設業の方に中学校に来ていただき講演をしてもらいました。

建設業の講演では、「便利な機械があってもそれを使いこなすためには中学校や高校で教わる基礎知識が必要」「社会に出たら周りの人から教えてもらうばかりでなく、自分で見て学ぶことも必要。今のうちに学ぶ姿勢を身に付けて」などの話があり、中学校での勉強や経験が、大人になったときに生きてくることを学びました。

また、今年度から始まった防災・減災教室では、白光中学校校区の洪水ハザードマップを使い自宅にいる時や登下校中に洪水にあった場合の避難方法について学びました。「中学生は周りの人を引っ張っていける立場になります。避難する時は、誰かが助けてくれるのを待つのではなく、声をかけあいながら、まずは自分が避難することが必要。その行動が周囲の人の避難行動にもつながり、助かる命がでてくる」という話を聞き、とても身が引き締まる授業となりました。

今回の学習は、将来の進路をしっかりと考え、また災害時には、中学生であっても地域の一員としての役割を果たしていく必要があることを自覚できた貴重な機会となりました。



生徒数 256人
(令和3年6月1日現在)

市の中心部に位置し、マンション街や大型商業施設などが校区内にあります。木製の内装が、明るく落ち着いた空間を作っています。



洪水ハザードマップを使って避難経路を確認

ようこそ！文化財の裏側へ Vol.2

遺跡があるか確かめる「試掘調査」

前回6月1日号でお知らせしたように、工事などで地面を掘る場合に遺跡が埋もれている可能性がある時は、試掘調査を行います。ショベルカーを使うかスコップによる手作業で、一枚一枚皮をはぐように表面から土を薄く掘っていきます。土の色や質感などを土層ごとに見極めながら、遺跡の有無を確かめます。

ショベルカーで土をかく時、古代の跡が見えるか、見えないか、まさに息をのむ瞬間です。人々の生活の痕跡である土器のかけらなどが出てくると、ロマンを感じます。



掘った土の表面が観察できるように、ショベルカーは爪のないものを使用します